

業務状況説明書

(令和4年10月1日から令和5年3月31日まで)

富士見市水道事業

1 令和4年度下半期の状況

(1) 事業の概況

ア 営業

令和4年度末における給水人口は、112,473人で、前年度末に比べ288人の増加となっています。

年間配水量は、11,241,910 m^3 で、前年度に比べ124,510 m^3 の減少となっており、人口が増加しているにもかかわらず、配水量が減少するという傾向がみられました。

また、コロナ禍における原油価格や物価高騰による負担増の影響を受ける市民及び事業者を支援するため、水道基本料金の免除を6カ月分（9月から2月まで）行いました。この影響額は、全額一般会計からの負担金により補填されております。

区 分 \ 年 度		令和4年度 (年度末)	令和3年度 (年度末)	比 較	
				増減	比率 (%)
給水人口 (人)		112,473	112,185	288	100.26
配 水 量	総 量 (m^3)	11,241,910	11,366,420	Δ 124,510	98.90
	1日最大 (m^3)	34,030	34,240	Δ 210	99.39
	1日平均 (m^3)	30,800	31,141	Δ 341	98.90

イ 建設改良事業費

老朽管更新事業については、山室1丁目地区の給水管布設替(R1412外)工事を実施しました。また針ヶ谷2丁目地区の配・給水管布設替(R2144外)工事、針ヶ谷1丁目地区の配・給水管布設替(R40外)工事を実施しました。大字上南畑地区では新河岸川水管橋補強工事として蛇木水管橋に補強材などを取付ける耐震化を実施しました。

浄水場改良事業では、水谷浄水場No.1配水ポンプ更新工事については、工期に遅れが生じたため、令和5年度へ繰越をいたしました。

配水管改良事業については、大字勝瀬地区の給水管布設(RB-174)工事を実施しました。また、配水管布設(大字鶴馬地内外)実施設計業務委託については、履行期間の延長、送水管布設(R1799外)工事、送水管布設(R27外)工事については、工期に遅れが生じたため、令和5年度へ繰越をいたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,983,675	847,089	1,094,508	1,941,597	97.88
	営業収益	1,903,387	846,638	1,026,032	1,872,670	98.39
	営業外収益	79,788	158	68,474	68,632	86.02
	特別利益	500	293	2	295	59.00
支出	事業費	1,717,065	443,303	1,152,717	1,596,020	92.95
	営業費用	1,642,251	436,771	1,085,436	1,522,207	92.69
	営業外費用	73,614	6,338	67,276	73,614	100.00
	特別損失	200	194	5	199	99.50
	予備費	1,000	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	5,150	0	1,191	1,191	23.13
	他会計負担金	2,400	0	1,191	1,191	23.13
	工事負担金	2,750	0	0	0	—
支出	資本的支出	978,176	75,107	239,104	314,211	32.12
	建設改良費	847,717	10,362	173,391	183,753	18.79
	企業債償還金	130,459	64,745	65,713	130,458	99.99

2 令和5年度予算の概要

(1) 予算編成概要

令和5年度の水道事業予算については、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限の緩和により、コロナ前の生活様式に戻りつつあることから、有収水量・給水収益ともに減少を見込んでいます。

その一方で、水道水の安定供給を維持するため多額の費用が見込まれることから、水道ビジョンに基づく施設の計画的な更新と維持管理に努めるとともに、災害対応に備えた整備を中心とした予算編成に努めました。

(2) 業務の予定量

区 分		年 度		
		令和5年度	令和4年度	増減
給水戸数 (戸)		54,655	54,369	286
配水量	総量 (m ³)	11,490,598	11,669,125	△178,527
	1日平均 (m ³)	31,395	31,970	△575

(3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比5.1%減の18億7,916万4千円、支出は、前年度比0.3%増の17億1,941万1千円で、収支差引では、1億5,975万3千円の黒字を見込んでおります。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比111.8%増の1,090万8千円、支出は、前年度比13.1%減の8億5,015万3千円で、収支差引では、8億3,924万5千円の赤字が見込まれていますが、赤字分については損益勘定留保資金等で補填することとしています。

(4) 収入支出明細書

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業収益			1,879,164	
	営業収益		1,797,814	
		給 水 収 益	1,558,676	水道料金の予定額を計上
		受 託 工 事 収 益	22,504	受託工事収益の予定額を計上
		補 償 金	1,060	修繕工事による補償金の予定額を計上
		加 入 金	152,460	加入申込金の予定額を計上
		そ の 他 営 業 収 益	63,114	下水道使用料徴収受託料等を計上
		営業外収益	80,850	
	営業外収益	受 取 利 息	986	預金利子の予定額を計上
		消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	12,621	消費税及び地方消費税還付予定額を計上
		長 期 前 受 金 戻 入	66,596	長期前受金の戻入予定額を計上
		雑 収 益	647	その他雑収益を計上
	特別利益		500	
		過 年 度 損 益 修 正 益	500	過年度損益修正益を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業費用			1,719,411	
	営業費用		1,709,063	
		原 水 及 び 浄 水 費	911,319	浄水及び送水に必要な経費を計上
		配 水 及 び 給 水 費	157,095	配水及び給水に必要な経費を計上
		受 託 工 事 費	21,890	受託工事に必要な経費を計上
		業 務 費	149,095	検針及び収納に必要な経費を計上
		総 係 費	47,953	事務運営に必要な総括的経費を計上
		減 価 償 却 費	418,201	償却資産に対する減価償却費を計上
		資 産 減 耗 費	3,510	固定資産除却費等を計上
	営業外費用		9,148	
		支 払 利 息	8,148	企業債及び一時借入金利子を計上
		雑 支 出	1,000	その他雑支出を計上
	特別損失		200	
		過 年 度 損 益 修 正 損	200	過年度損益修正損を計上
	予備費		1,000	
		予 備 費	1,000	

資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資本的収入			10,908	
	他会計負担金		4,000	
		他会計負担金	4,000	一般会計からの負担金を計上
	工事負担金		6,908	
		配水工事負担金	6,908	開発等に伴う配水工事負担金を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資本的支出			850,153	
	建設改良費		749,672	
		建設総係費	28,952	建設に必要な事務費を計上
		老朽管更新事業費	163,837	老朽管更新に必要な工事費等を計上
		浄水場改良費	247,610	浄水場改良に必要な工事費等を計上
		配水管改良費	305,300	配水管布設工事費等を計上
		量水器費	3,973	量水器出庫予定額を計上
		企業債償還金		100,481
	企業債償還金		100,481	企業債元金の償還金を計上